

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	鬼の館	■担当係	鬼の館
■評価事業名称	講座・体験学習会実施事業		
■事業開始年度	平成12年度		
■評価事業コード	418300 - 005	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	03 社会教育機能の充実	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	市民一人ひとりの鬼に対する認識と関心を深める。親しみやすい創作活動や、地域文化の紹介と体験、より詳しい鬼に関する講座などを開催する。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	鬼ZZプレイミュージアム	一般市民	●和紙面作り(通年)300人 ●夏冬休みワークショップ回数 6回 参加者数70人 ●鬼ZZの日回数 12回 参加者数180人	●和紙面作り(通年)248人 ●夏冬休みワークショップ回数6回 参加者69人 ●鬼ZZの日回数12回 参加者数235人
02	鬼学講座	一般	●講座回数 3回 ●受講者数 40人	●講座回数 3回 ●受講者数 62人
03	鬼っ子わんぱく講座	市内の小学校に通学する児童と市内の未就学児	①こどもの日わくわくイベント開催 1回 参加者800人 ②夏の鬼っこわんぱく講座(鬼剣舞体験) 開催6回 参加者16人 ③冬の鬼っこわんぱく講座(鬼剣舞体験) 参加者16人	①こどもの日わくわくイベント開催 1回 参加者数778人 ②夏の鬼っこわんぱく講座(鬼剣舞体験)開催6回 13人(登録者) ③冬の鬼っこわんぱく講座(鬼剣舞体験) 開催6回 参加者18人(登録者)
04	専任研究員設置	鬼の館	●専任研究員2名の雇用 鬼ZZプレイミュージアムやわんぱく講座の企画運営、鬼の館だよりの刊行年2回	●専任研究員2名雇用 鬼ZZプレイミュージアムやわんぱく講座の企画運営、鬼の館だよりの刊行年2回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	5,564	355	4,529	4,639	
人件費	2,830	8,550	7,366	3,697	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	8,394	8,905	11,895	8,336	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	講座学習会開催回数	71回	65回	60回	48回	鬼ッズプレイミュージアム、鬼学講座、鬼っこわんぱく講座の開催回数の総計
02	講座学習会のべ利用者数	1,642人	1,681人	1,722人	1,423人	上記講座のべ利用者数(わんぱく講座は登録者数)
03	1回当たりコスト(千円)	118.2	137.0	198.25	173.66	フルコスト÷01指標
04	1人当たりコスト(千円)	5.11	5.29	6.90	5.85	フルコスト÷03指標

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

ほとんどの事業が目標回数と参加人数を達成することができた。和紙面作りは、昨年からの事業回数を減らしたが、周知できたため、一回毎の参加人数が伸びている。

### 問題点・課題等

わくわくイベントは、事業内容がマンネリ化し、参加人数が伸び悩んでいる。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

## 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

## 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

当事業は、鬼の文化伝承を使命とする当館にとって重要であり、委託等は難しい。また、限られた人員のなかで運営しており、今以上の拡充は困難である。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了